

2022年度末の貯金残高について

2023年5月29日



1 2022年度末の貯金残高について

- 2022年度末の「個人貯金等」は2021年度末比で0.6兆円増加の189.3兆円(2021年度は3.3兆円の増加)(A)
- 貯金種類ごとに見ると、
 - ア 定期性貯金については、減少傾向が継続 (B)
 - イ 流動性貯金である通常貯金については、行動制限の緩和等により、消費が促進され増加幅が縮小 (C)

注 「個人貯金等」とは、貯金残高から、法人等の決済性預金（＝振替貯金（一般））、大口定期、その他貯金を除いたもの

(単位：兆円)

	①2022年3月末	②2023年3月末	増減 (②－①)	2021年度 同期の増減	2020年度 同期の増減
貯金残高	193.4	193.6	0.2	3.8	6.5
個人貯金等	188.6	189.3	Ⓐ 0.6	3.3	6.0
通常貯金	101.5	106.9	Ⓒ 5.3	9.3	12.3
定額貯金	76.6	71.9	▲4.7	▲6.7	▲6.6
定期貯金 大口定期 除く	4.3	3.3	Ⓑ ▲1.0	▲0.3	▲0.5
振替貯金（総合）	6.1	7.2	1.1	1.1	0.9
法人貯金等	4.5	4.1	▲0.3	0.4	0.5
振替貯金（一般）	4.5	4.1	▲0.3	0.4	0.5
大口定期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0

※ 貯金残高には未払利子を含まない

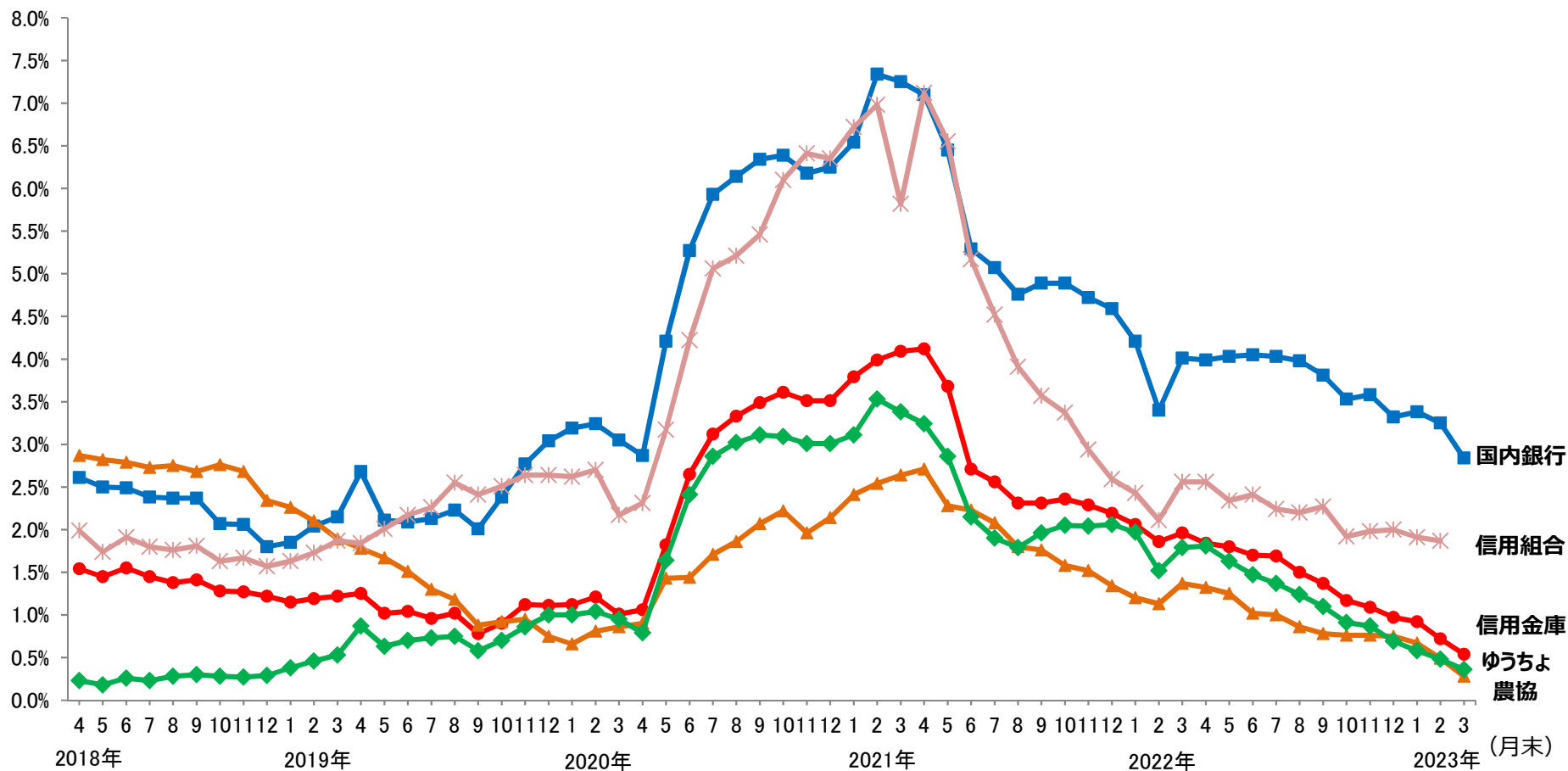
※ ゆうちょ銀行株式売り出しに伴うグループ会社の貯金等の特殊要因を除く

※ 大口定期は、預入限度額適用除外法人等及びグループ会社による 1,000万円以上の定期貯金

2 業態別の預貯金残高（対前年増減率）について

○ ゆうちょ銀行の「個人貯金等※1」の伸び率は、業界の中でも相対的に低位で推移。

業態別預貯金の増減率（前年同月比）の推移



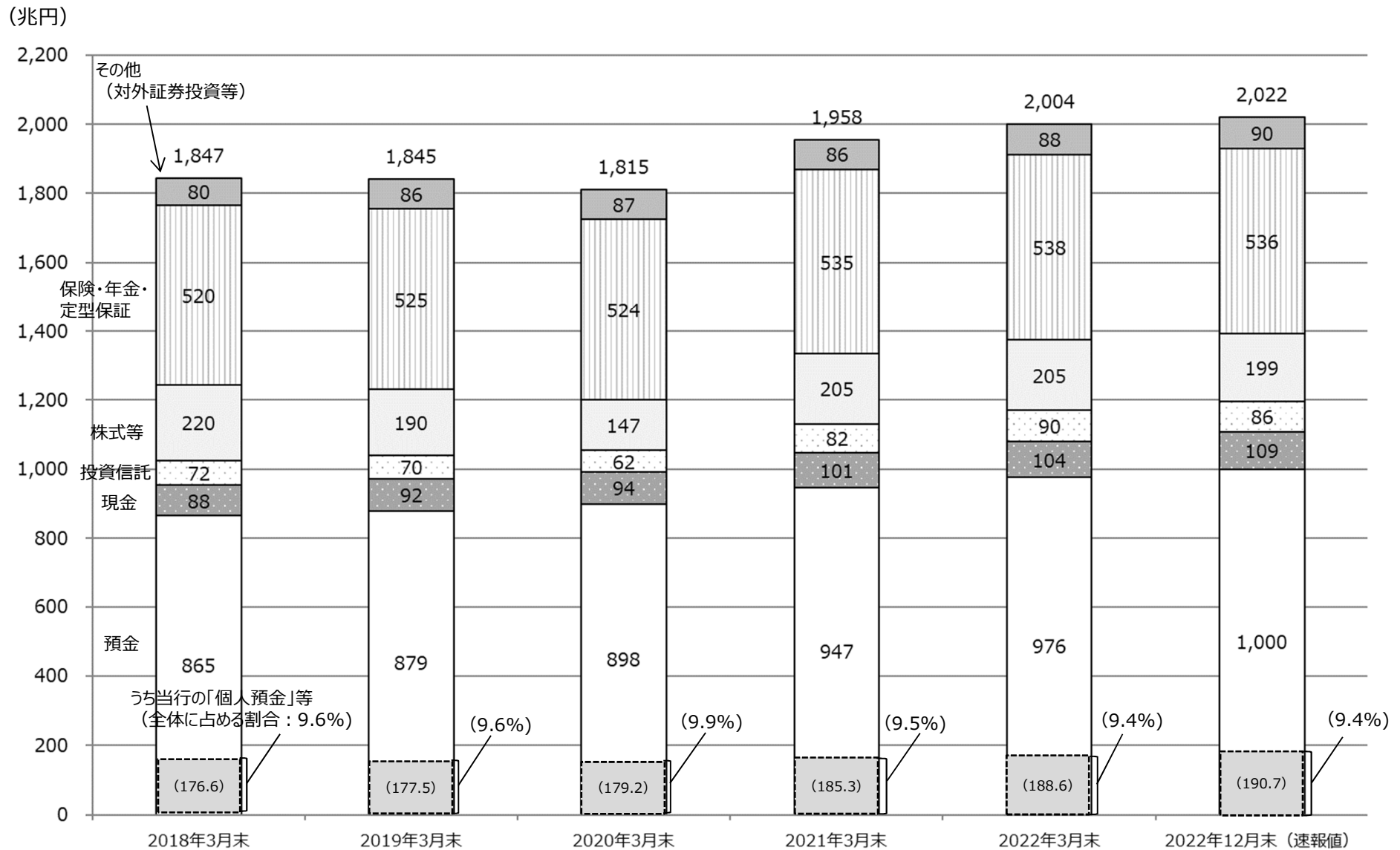
※1 ゆうちょは大口定期、一般振替貯金、その他貯金は含まない（＝「個人貯金等」のベース）

※2 農協・信用組合は法人貯金含む

※3 国内銀行（都市銀行、地方銀行、信託銀行）・信用金庫は個人預金（出所）日本銀行「預金・貸出関連統計」

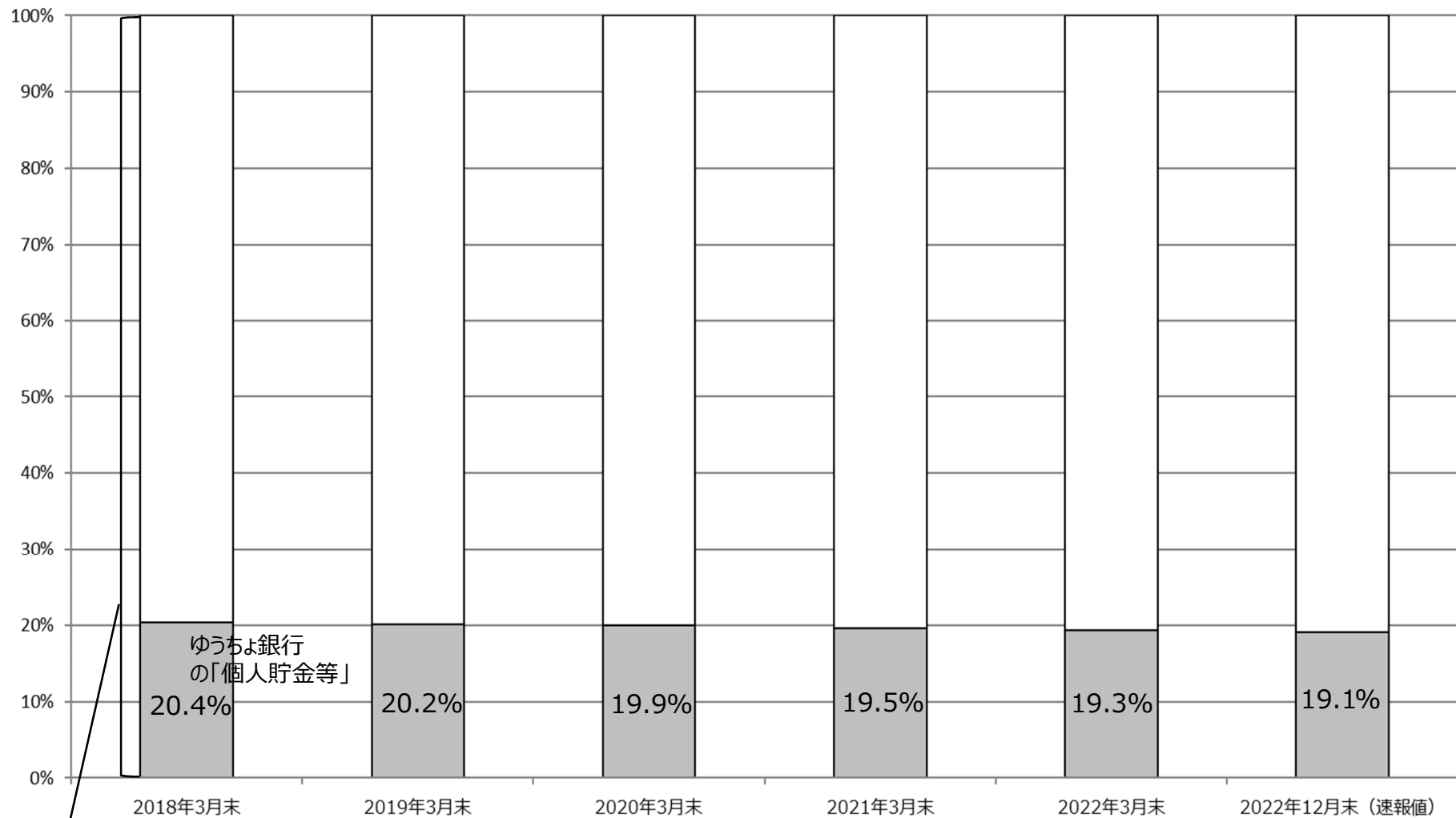
※4 ゆうちょ残高に元加利子は含まない

＜参考 1＞「家計の金融資産」に占める当行の貯金の割合



- ※ 家計の金融資産残高は、日銀資金循環統計から作成。2022年12月末の値は速報値。
- ※ 預金は、「流動性預金」+「定期性預金」の合計金額。「外貨預金」については、「その他」に含めている。
- ※ 資産額について単位未満は切り捨てて表示。

＜参考 2＞ 家計部門の「預金」に占める当行の貯金の割合



家計の金融資産のうち預金
(外貨預金を除く)

※ 日本銀行「資金循環統計」における家計の金融資産のうち、「流動性預金」及び「定期性預金」の合計金額を分母とし、
ゆうちょ銀行の「個人預金等」残高を分子とした割合

※ 2022年12月末の資金循環統計は速報値